

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和4年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
阿賀野市	下水道事業	公共下水道	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		●					

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等					
実施済	●	(実施類型) 汚水処理施設の統廃合 ●		(取組の概要) 人口減少に伴う処理量の減少や集落排水施設の経年劣化等を鑑み、汚水処理施設整備構想において、農業集落排水事業の公共下水道事業への統合方針とした。令和2月4月1日から農業集落排水施設のうち、渡場・小松地区を公共下水道事業に統合した。		(実施(予定)時期) 令和 2 年 4 月 1 日	
		処理場廃止あり ●	処理場廃止なし	公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合 ●	特環下水と公共下水との統合
実施予定		(取組の効果額) 8 百万円(年)		(取組の効果額内訳) 維持管理費 年▲800万円			
		(取組の概要)		(検討状況・課題)			
検討中							